



# 養蚕歩合ニ家族を求む

住宅、井戸、用具、

大養室、桑園、全部揃って居り

通学の便もよいところを

詳しいことは面談の事とします

左記へ御来訪下さい

エスぺランサ正小學校の先

オラリアのある所

川上

勵

モンテアレブレ等の組合は私が作ったのであるが、その時私は組合の効能を述べ立て、決して失敗するものではないと太鼓判を押して熱心に説いたのであるが、時局問題に禍ひされたとはいえず、影も形もなく四散するとは一体どうしたことが何故解散せねばならなかったか合点が考らぬのである。その組合の發起人は非作され、何人にも破産に瀕し皆損をした。私は太鼓判を押したことがまちがいであったか。ホンペイヤ組合の如き、中々盛大であった。パラガスも盛んだった。それが今やとんなことになつてしまつたか。実に不思議に堪えぬのである。

「組合を組織すれば決して敗退しない」と実は声明したが、その言は今でも正しいと思つてゐる。眞の組合といふものであれば微動だにしない組合といふものは損するものでも破産するものでもない。又もうけるものでもない。商人の場合では利益を目的とし、利潤を追求するが故に損をする。力さへあるならば前進あるのみである。由來組合には軌道がある。レールがある。ところが敗退する組合には軌道がない。組織はあつてもレールがない。レールの上を走らずどうして前進が出来るか。レールとは何であるか。自力で歩かざるやうな自力更生の決意である。

ある組合はバンクから沢山の借金をし組合の運営を計らうとした。借金の力で動かすとは組合の方針である筈がない。自力で動かさねばならぬ。自力更生以外に組合の進む道はないのである。一つ一つの力でも百あれば百の力となる。これが組合の眞の姿で借りる心がまちがいである。

組合員は組合から借りることのみを考へ、之れが無理な要求となつて組合を苦しめるのである。此れでは前進せぬのはあたり前ではないか。軌道のない組合、レールがない組合、つぶれるのはあたり前ではないか。

もう一つ組合には軌道がある。公平無私といふ事だ。組合は組合員の利益を擁護する為めに出来てゐる。皆の共有物であるから、どこ迄も公平でなくてはならない。理事が自分の懐を担い、或は理事と籠絡する組合員が居り、公平を欠く従業者が居たりとうであるか、絶対公平無私でなければならぬ。理事にクソリを食はせる人がある。金を借りる時も、物をうける時、いつもうるさく、まわりついでに理事をいぢめる人がある。こういう不良組合員が組合をつぶす。バチルスである。確固たる信念のない理事は遂に公平無私の軌道をふみはずすようになるのである。

ある組合はバンクから数十コントの借入れをなし、その七割迄を大人の理事が使つてゐた。これが公平であるか、こういうふやり方では誰が信用をしてもらはうといふのであるか。組合に居ると日々大小の問題にぶつかると、大体頭をさげてくると人は警戒を要する。そうかといつて可愛相に氣の毒だといつて軌道を外すわけには行かないかぬ。但し公平無私、自後のは弱いものであるからである。個人々々の力は弱く、それが協同の力だ。仕事をやるのが組合の力となるのだ。だが、何れも頭をさげること強調する。組合は慈善団体でないことを強調する。そういふ物の考へ方をせず、情実に支配された組合は、つまり脱線した組合には必ずそういふ欠陥があつたのである。

私の言によつて組合を作り、そして脱線した人にはお氣の毒であるが、レールが軌道をし、いた組合はとうであるか、軌道をし、いた組合を運営しても絶対駄目なことは前述の通りであるから、今特になさうと云つてゐる。

吾々はもういふ処へコナマの軌道を布いてあつてゐる。又實際と二へども布いてあつてゐる。吾々の手で工夫を送り、エ重としてあつてゐる。既に積極的、ポルテン、マッシュド、ベルナル、ス、マルナ、ジョリスの四ヶ所へ天ホジツトを作つた。即ちレールを布いて汽車を走らせてゐる。が、レールを布いて行くつてゐる。其他、リンスもレジストロにも此処にも同様にホジツトを敷いた。あこがましい言ひ方であるが、このやり方が一番しつかりしてゐると確信してゐる。レールが何よりもかんじんである。ことを認知して頂き度い。(以下次頁)

「平凡な説き方が、痛いとこを衝いてくるではありませんか、虚心坦懐に聞き取ります」

バスター二十五五年史

刊行されん

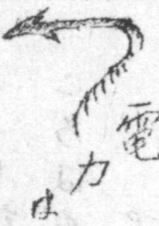
不ラ本本部に於ては故井久保支配人が  
生前の企劃としてバスターを始め姉妹移  
住地の発展史を作り、将来の移民事業に寄  
与すべく、六野島之氏を特に入社せしめ  
重要のバスターを手へて過去一年有半にわ  
たり各地の料蕙果にのり出していた。水  
野氏はチエテ、アリアンサには十年史があ  
りトレスバラスには二十年史があるのに  
ひとりバスターには何らもういふ方面の  
前掲史がないのを特に力を注いで、やうや  
うと輪廓をつかみ、愈々之が仕上げにか  
らうとした矢先、井久保氏の急逝とな  
り、折角の企劃も一時放棄するの止むな  
き事となつた。さく処に於ると加藤好  
之氏がバスターを以て新移民事業に着目し  
得なくなり、遂に、そつと不出版の多  
額の金と費し得ない事になつたのが理由  
らしい。そこで納まらなかつた水野氏は  
ある。二年近く餘食を忘れて蕙果した資  
料は四百枚に余る原稿となつてゐるのに  
之を晴から暗へ葬むるのには残念な。た  
へ自費出版をしてでもせよと送り度いと懇  
はな決意のもとに二月下旬、兼梅して難  
合日本人会へ相談をもちかけたのである。  
連日会としては主旨には賛成だが資金  
のアジターは出未ぬ。後援といふ形で中  
こうと返事をしたので、水野氏は遂に覚  
悟をさめ背水の陣を布いて今回身身バ  
スターに乗り込み、約四月の予定でバスター  
二十五五年史の完成に全力を傾倒するこ  
ととなつた。現地で書き上れる都合は戦  
時中戦後の事情、及其後の発展過程とい  
ふ言ひに近せ史であるが、その間に本書  
の予約をとり、又は人物紹介に格別を望

を振う及仕事は山積して居る標本であ  
る。ミナ廻りもするであろう。 狗人笔訪  
伺もするであろう。  
此の事業完成の爲めに、とうか全バ  
スター人の応援をお願ひしたいと、水野氏  
と云つて、たのまれもせぬ広告をする次  
身である(一糸)

話の肩籠

のどじまんフクれる

△去る四月一日二日熊本べんの講演を聞  
きたに付つたある東北のズーさん、オレ共  
に、自分さつぱり、おかんぬエかつた。  
△前には袖やんが佐賀べんをまくして  
今回な、鹿やんが熊本バツテンでフロシ  
キハのホよらしたホな。ひろびた、ちや  
ヨカバウチンが、のどじまんは、くさ  
はつたホな。(M人)  
△くさもなほつた、あや、ヨカバウチンが  
ウチの娘のプリンコを、太刀のいのの皮で  
こしりやア人造真珠で、猫にかじらぬ  
ごて、氣味のけじやアて、ほんにホア  
鹿やんの云ひ、つづの憎らしかア。  
△のどじまん、おるからちやいわん、それ見  
なせ、一年にすべんも二十べんも、つ  
ちやいがんといふことよ。(ホ)  
△太刀のいのの皮でできた人造真珠の首  
かぶりなんを、やめて、一そ、三本本養殖し  
んじやがまんして、ルー、ジュはやめてペン  
キをぬり、アルゴドン、吹きとほすこと  
高で歌へ。一年に一べん、連合日本人会  
主催の秋まつりの時にだけは、だつても  
るらしい、原田君、これを云ひ忘れたね、十  
慮の一矢だつた。(M人)  
△ヒバリ、葉団氣をわくる、する、おエを。  
ヒバリ、ヒバリはヒバリだ。ヒバリが、ヒ  
ヒバリ、ヒバリ、チク、啼かなんたら、あにそれ  
ヒバリ、ヒバリ、ヒバリ、ヒバリ、ヒバリ、ヒ  
△職務を娛樂とせよ。これも、わかつたよ  
うで解らん、ケツガウだ。(S)  
△日本の科学が世界一で、日本の思想が  
世界一で、日本が世界を指導する……日  
本から来る人は、言ひ合はせられた、こんな  
様なことを言う。  
△そんなによか、とこなら在伯同胞皆、かへ  
るべい、やといふことになり、かるが故に  
櫻組の大東亜理論が、ハバを利か、吉所、以て  
ある人である。(M人)  
△大いに唄へ、大いに勉強せよ、大いに  
儲けて、大いに使へ、これは、ワシの持論  
だ、青年に希望をもたせる意味での日本  
礼賛論なら、やめた方がいい。  
△日本の再算備が、いかに進んで、戦力なき  
防備が、これ程強固であつても、在伯日系  
青年と何の、わりがあるか。(ホ)  
△いい映画、見るに、ゆく可い、よい音楽  
なら、大いに聞かべし、但し、トーン、調節、はいかん。



弱い電

ラジオがよく聴えない  
電燈が暗い  
アイロンの熱くならない  
冷蔵庫が冷えない  
ラジオのワルクルラが焼ける

トランスホルマードール

で一功解決!

ラジオ用 小型、アイロン用、冷蔵庫用、中型  
大型各種 トランスホルマードール

品質フラジールを誇るマルカ「KRON」  
バスター代理店

上ヶ島商店

ロードビリアア 前前

# 柿しぶ あります

柿しぶが高血圧の良薬である。これは漢方医学の証明する処。血圧が高い方は御試め下さい。一日茶こじ二杯(朝夕一杯宛)冷水でうすめて服用します。

論より証據、効果ある故遠方より註文があります。

ころはぬ先の杖、おためしあれ!

アルト一區

西 忠 良

週報社に見本は五本ありてありませす故、作り下さいます。

## 原田龜雄氏 講演 要 旨

①

四月一日午後七時開会とあったが、實際始まったのは八時半であった。世話人の手落ちかどうが知らぬが、時間觀念に欠けては「どうも長らくお待ちたせしてすみません」の一言で腹満し。いやみや言ふわけではないが一寸一言(赤)

私は又今御紹介にあつた原田です。今から十五年前、昭和十二年五月から夕九の輸送監督として渡伯いたしました。その時バストスにも参りました。往時を思い出して懐かしさに堪えませんでした。今回教育問題移住問題について、〇〇會から派遣され、昨年四月九日伯國に参り、〇〇會を挙げておして以来十一月、二〇ヶ所にわたる在伯邦人の活躍調査、或は教育問題調査などを致しました。皆、未だ五月帰朝と共、之を閣議に諮り、ある方法で、以て諸君の御期待に副い度いと思つて居るものであります。十五年以前とうが、今や四十万の同胞が経済に文化に非常な發展を遂げ、おとろく可き促進を遂げました。十一月の旅行中に感じたことは、戦後四十万の同胞は戦年の問題に於いて感情上、思想上、ことに混同たる有様、此に於いて大いに心配をいたしました。里オヤ聖市でもきいたことだが、また、奥地では驛然たるものがある。それは一体何が原因を以てしているか、あるか、すべてそれは日本の実情を知る智識

## イタプーラ 觀瀑撮影

ピクニック

- 一 出發 四月十七日(土)午後八時  
ガンリンホスト エッソセツテ前より  
カミニオンにて出發
  - 一 辨當 各自持参のこと
  - 一 行動予定 四月十八日早曉イタプーラ着  
充分時間の都合がつけば、パラナ河  
イリア・クラテ迄出動す。
  - 一 帰途は十八日の夜となる予定
- 寫真委員は浅れなく御参加下さい  
會員外の方で同行希望者は幹事迄御相談下さい(宮崎 古田 早川 長橋)  
バストス 寫真同好會

に欠けて居たからであります。悪徳新聞や煽動分子にだまされて一十四、五百家族の人達が馬鹿になつてしまつた。これは認識常識に欠けていりからだとはいふ事と痛感し、教育と移住問題を述べ、前に在伯四十万の同胞は如何に進むべきか、母國の事情をよく知る必要がある、と思ひました。戦前戦後の情態について一応話を進めたいと思ひます。

戦前移住組合に關係がありましたので、アラ移住地にも沢山の人が送りバストスにもそれらの方々が多いが、是はれはうと、さらわれよう、私は早速に日本の実情を中々見度い、もしその為めに創られたら、よろしくたのむ。

所々方々を旅行し、パラナに於ても色々考へさせられた。一口線フロミンソン、リンスを廻つた時の事を一例としてお話ししよう。リンス在の熊本果人の移住が、北の時一人が「先生、今世の中が、大いなる時なりました。リンスでは認識組合が主催する移住組合は、奇りません。全部未だ組に二派ある。佛教會も二派に分れて、日本人は誠に反對の事をいつて、對立するのが好きなようです。リンスの講演会には、千三百ほどの人が集つて盛大であつたが、あとで幹部の人の懇談会の時、  
「ごまかしてほんに見若し、か、人がある人が言つたので、私は「よか、や、人なき、大いにやらせ、ア、うんともめた方がよからう」といつて、けしかけたが、此の勝をつき合はすことが、勤機となつて、先づリンスに於ても、次は、ア、ドラジ、ナに於ても、二派が互ひに手を握つて、中よくまとまるようになつたのであります。二三の者が居て、皆をおだてたり、ア、ジ、タリ、するのだが、さういふ奴はアマゾンにつれてはつて

打つちやてこいと云つてやりました。お  
互いに勝つて合せ胸を割らねばなりぬ  
物事はよく知らぬいけません。研究せぬ  
いかん。お互にソウジルの社会に於て大切  
なるものがあつてあるのではないか。  
私の方を歩いたがシツクは中々よくあつ  
た。特に目についたのは、この自慢であつ  
た。のと自慢大いにヨカです。明朝で倍  
く正しく生きた事はけつこいから、持細  
く歩の吹きとぶ程吸へ。コーヒ園でッ  
と之の校のつてくる道順へ。吸ふはよし  
いが何でマイク口ホンの前を歩くとあつ  
た。ふりして唇はまはか。首に長、委も  
のシ、エ、おふりさ。自身にはべうく。なき  
もん。着て、二、等賞候とりんならんこの  
あるか。

今や日本の化学の進歩はすばらしいも  
のです。真珠はパールゴドンでは買へぬ程  
高い。天然真珠は少いので日本産の真珠  
真珠に目を付け、戦後輸出入貿易の天に  
ルを豫めた。だが之もまた高い。以て考  
へたのが人造真珠です。之れは如く出来  
林益漢業といふ財閥。科学的な方法を以て  
船のソベに魚を寄せ、すくいとつてしまふ  
の。だから日本の近海には魚が少なくなつ  
てしまつた。そこで朝鮮近海へ遠洋漁業  
に出かけて、そこをくるとるものだから、  
戦後文句をいふようになつた。そこで、  
れるのは太刀の魚である。ところが太刀

# 移 轉 廣 告

私 儀

從來オフィス十個に、営業致して  
居りましたが、今般業務擴張の  
為め  
**ポストエツツ**の横  
ブラ拓事務所の真向に  
に移転しました

最も確実な仕事を、迅速に、叮嚀に  
いたします。何卒相かわらず

御用命の程願ひ上げます



阿 部 五 郎

C. P 一〇五

魚は銀色をとりしとるのに、之れは真黒しとる。  
水素バクタンにやられたのが、否さうで  
はない。皮をすか、か、り、は、取、つ、て、あるの  
です。此の皮を化学的にかため、真珠の  
玉にする。此の皮が人造シニ、は、あ、ら、ぬ、之、れ  
は、昔、い、も、の、だ、か、ら、農、村、で、は、成、が、こ、れ、を、買  
つて首にぶらさした。そして、猫に耳を  
かじられた。之をラジオが放送した。その  
だから皆ぶらさした。それをやめてしまつた。  
製造元では、之れを外國、フランス、人、に  
送つた。そんな事は知らぬ。人、違、い、け  
ば、い、い、や、で、コ、イ、ワ、の、前、で、か、ち、だ、と、く  
ね、ら、せ、ち、二、等、賞、は、取、ら、う、と、一、生、け、ん、め  
い、之、れ、が、奥、他、で、何、と、こ、へ、行、つ、て、盛、ん、だ、  
私、は、の、と、自、慢、お、や、め、な、さ、い、と、言、は、れ、  
人、違、真、珠、耳、に、ぶ、ら、さ、し、は、二、猫、に、か、ま、れ、ん、と、  
う、に、注、意、し、な、さ、い、

大東運送の起る前、日本の姿、昭和に  
入つてからの日本は國内の有組がよ。東工  
業、特、等、賞、を、進、進、と、け、た、の、で、あ、り、ま、す。  
氣、善、良、自、動、車、自、転、車、ミ、ニ、ン、機、物、之、れ  
も、品、品、が、海、外、に、何、ヶ、國、に、輸、出、さ、れ、  
新、興、車、が、ソ、リ、カ、ノ、ジ、ア、に、到、る、所、に、進、出、し、  
私、が、英、國、に、行、つ、た、時、船、本、船、運、の、業、内、で、  
之、念、に、行、つ、た、領、事、館、員、四、五、人、一、し、ご、あ、つ  
た。フト電球を見ると日本のもの似て  
居るので、よく見ると、ソ、リ、カ、ノ、電、球、が、ソ、リ、  
ド、イ、ン、ジ、ヤ、ン、と、い、ふ、と、あ、る、ロ、ン、ド、ン、  
と、見、た、と、き、所、と、も、云、へ、ぬ、心、球、と、覚、え、ま、  
した。昭和十三年五月、フランスの帰途、  
パ、ラ、ナ、イ、州、を、見、北、米、ニ、イ、ウ、ク、を、入  
田、見、物、ハ、ウ、イ、に、立、つ、と、き、日、本、の、姓、に  
土産を買つて帰ろうと思ひ、ソ、リ、カ、ノ、電、球、  
産、品、ノ、ホ、マ、ミ、時、計、を、求、め、た。洋、朝、後、林、  
野、と、長、ん、だ、の、も、牙、の、間、講、堂、か、ら、戻、つ、て  
来た見えさん、之れは、か、八、寸、と、い、ふ、わ、け、を  
さいて見ると、何と、その時の袋に、メ、ロ、ド、イ  
ン、ジ、ヤ、ン、と、書、い、て、あ、り、精、巧、社、製、と、あ、る、と  
判、つ、た。標、が、云、ふ、に、は、私、は、結、婚、前、か、ら、  
ニ、カ、ラ、元、毛、ド、リ、の、時、計、は、い、り、ま、せ、ん、と、い  
ふ、の、で、あ、つ、た。  
(先づ、ソ、リ、カ、ノ、電、球、は、早、く、買、ひ、上、げ、  
筆、記、を、ま、た、な、要、点、を、み、以、下、以、上、)

生長の家七つの光を讃ふ  
新 津 牛 丸

- 1. 生命はいと貴しと礼拝し
  - 2. 限りなき生長の道人はみな
  - 3. 生命の糧は愛なり 祈りを以て
  - 4. 生命の法則(のし)をきわめて生長の
- 眞の道を歩むよかな

外遊がたつた知事

前々号(今、208号)よりつづ

馱頭の不信任決議文

飛行機でやと羽田空港についた西尾知事は外遊中の県内の動きはさつぱり分らないから「不信任される理由はない、そんなことをすれば議会を解散する、リコールなんてそんなもの出来ません」と中々元氣なものだった。

一方日農、果労働組合協議会は「民主主義のルールをわきまをぬるのだ、リコールしよう」と知事がまだ帰らない八月中旬ごろから相談していた。知事が十月一日鳥取駅に降りるなり、約三百人が出迎えた。駅の前で本日は農運書記長は「県政上重大な問題が山積している今日、決断に不在にされたことは怪しかりぬ」と決議文をつきつづけた。知事はニヤニヤ笑ひながら聞き入っていたが十一月二日の果ギギ会に顔を出して決議を無視して行つたことはまことに申訳がない。皆様に了解してもらえなかつたのは私の不徳の致すところだ」とあつさり陳謝した。

議会のうちでも中上公友両派は「知事は陳謝しているからもうこれ以上せめてう努力をされたらよいではないか」といい果政同志会は決議を無視は許せないなど六つの理由をあはせて不信任案を出したが、賛成は同派十人のみであつた。否決。

縣会で不信任案が否決されたからにはと労働団体は、知事さんの出ひ分も、果会の出ひ分もきいたのち、各々の態度を決めようとして、議院三派の代表を招いて鳥取、倉吉、米子三地区で県民大会を開き、決議を無視して外遊した理由、又出席時に議会のカラクリを知っているからといつたがどんなカラクリか、市民選知事が議会の決議を無視して国際地方自治会議に出席したことは了解出来ない。

知事は決議を無視はまことに申訳がない。カラクリとは別段意図があつたわけでもない。反対決議も悪意の反対決議でないと思つた。決議を無視して国際地方自治会議に出席したとて別段悪いとは思つていないと答えた。

リコール運動始まる

労働団体はリコールするからしないか、県民大会後に態度をきめることになつていたので、日農は十一月九日臨時大会を開き、十一項目の理由を挙げてリコール即時断行を求め、果労働も十二月十日臨時大会を開いてリコールに反対する。果中教組、果職組が退場してかわり、リコール断行を決定してしまつた。労働団体のリコール決定について、断

ポイントール

みなさん 住宅を綺麗にしませう

僅かな費用で

サーラヤクワルトが

見ちがえる様に美しくなります

最近、桑元さんの室をぬり替えました

一度ごらんの上、御氣に入りましたら

どうぞ、御用命下さい

板壁、レボッキ、天井、いかなる仕事も

迅速丁寧仕上りいたします

池田ホテル正門向側

伊勢忠夫

村会、断村や会や長会などは、「貧乏果の鳥取でリコールなどやると、果政の空白と不安をきたし、果政は混乱する」と心配している。

リコール運動に突入すれば、二ヶ月間に少くとも十五万人の署名が必要、それには有権者名簿との照合、信任投票、その結果がつかまで六月はかかる。

注目の知事リコール果して成功するか。風雲急を告げるさながら西尾知事は「リコールするなともいえないし、それは住民の権利だからよろしいでしょう」。心境は？とさげは「MRA大会でえた正直、愛、純潔、無私のモットーで果政を担いで行き度い、リコールで果民の審判に立ちます」と、羽田空港に帰った当時のような元氣は幾分うすれていくようだ。

サハエのよう子口を開いてサツクバラックに話して、た知事も今までのように、サツクバラックの口はさかなくなつた。(子)

以上の話について、奥田民蔵さんの感想を求めると「その事は手紙で知つています。西尾知事は、その後先手を打つてあつたり辞表を出し、次の選挙による用意中だと言うです。さすが政治家ですな」といって笑ひた。

ユーカーフトを樹えましよう

それについても本場を一度視察しよう

五月一日午後九時土曜、某会場所は、製菓前

目的地、リオクラロ、ヒラシコーバ、カンピーナス

五日四泊の予定、小遣銭として四百円を要す

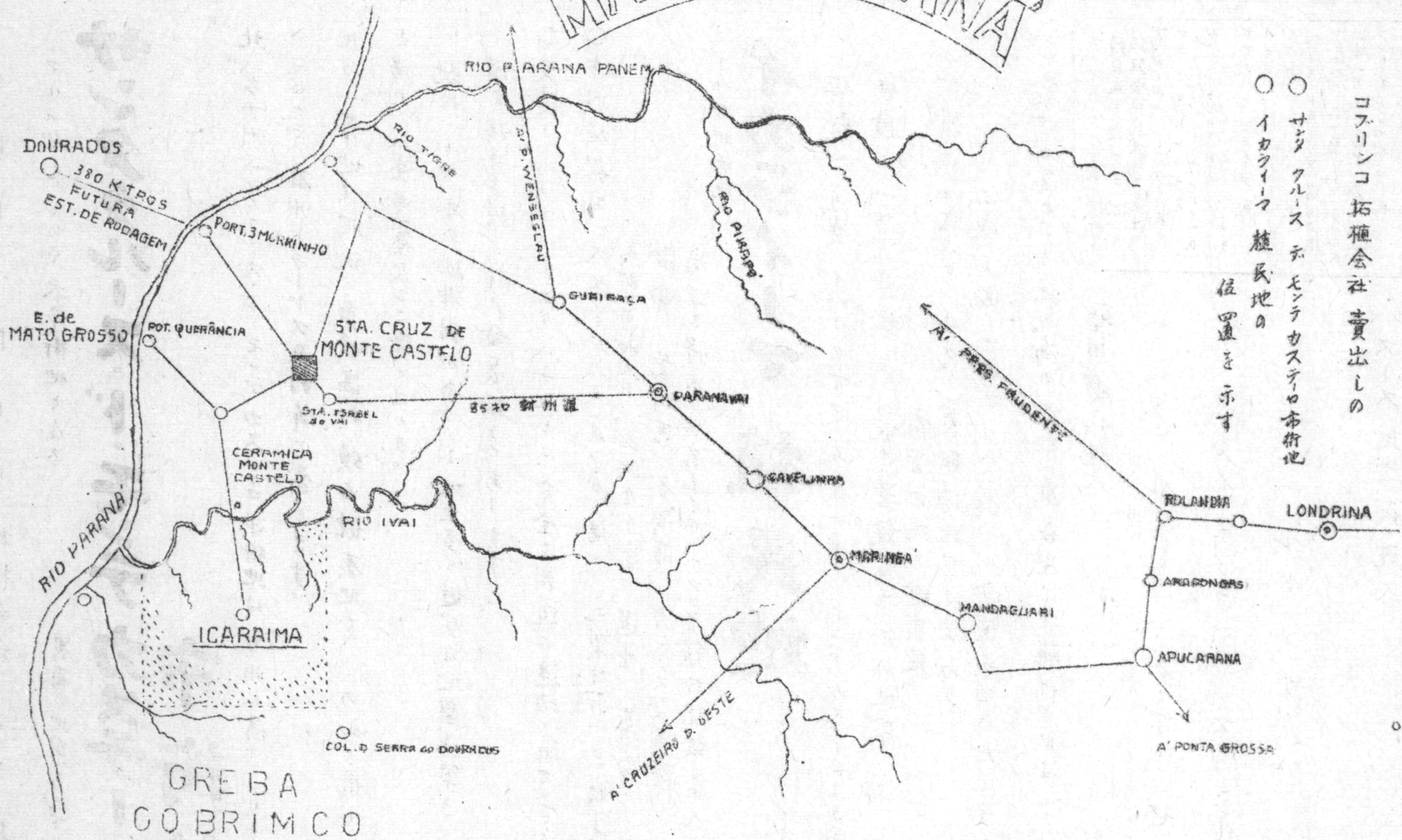
団長、谷口章氏

主値、バースト、ユーカーフト植林

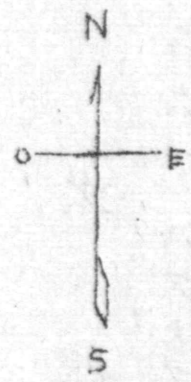
朗成 藤盟

中込所、産組徳川道

# MAPA DO PARANA



○ コスリンコ拓植会社 賣出しの  
 ○ サラクルス 赤モシカステイロ市街地  
 ○ イカライワ 植民地の  
 位置を示す



GREBA  
COBRIMCO

# CIA BRASILEIRA DE IMIGRAÇÃO E COLONIZAÇÃO

畧称

COBRI MCO 拓植會社の賣出し地

マリンカまきしのぐ大市街地となる

裏面の地図ごらん下さい

## サンタクルースド・モンテカステローロ市街地

北パラナ州サンタクルースド・モンテカステローロ市街地は聖州に隣り、リオパラヘ三〇キロ、麻州ドラードスの對岸に當ります。

地方一帯地味肥沃、氣候溫和、頗る健康地で、玉の如き清水と溢れ、水量豊富なこと驚くばかり。

既に一千万本の珈琲樹があり、小地主多く健全な地盤を築き、州經濟の将来を擔う程の發展振りがあります

○交通・パラナバイより八十五キロ完全五州道で連結されて居ります

○市内施設物・大セラミカ(瓦及レンガ工場)、三製材所、三精米所、三ガムリンホスト、立派なホテル、医師、藥局、学校、教會、齒科医、各商店、オニナス發着所、尚近き将来、フラジレイロ・カスコン銀行開設されんとす。

## イカライーマ植民地

位置・リオバイの下流左岸(南)モンテカステローロより三〇キロ

面積・一万五千域 最も豊饒なる珈琲地帯

霜害無絶、健康地

地價・一域ハコトより、長期拂上の便法あり

五域・十域・十五域・二〇域と小分譲開始いたしました。

○家族の爲め、子孫の爲め是非一度視察して確保されよ!

聖州總代理人

ニールトン・メネーゼス  
ロメイロ・ジラス・シオ  
エドワルド・サバタ

バストス地方代理人

阿部次郎

C.P. 二六 バストス

ブラジレイロ・カスコン銀行の頭取及重役、ゴフリンコ、拓植會社の大株主重役です  
アフトール アギアル氏  
ドトル・ジヨセ・ネグリンヤ  
カルヂノ・アルフレド・ネアルメク  
セサル・ネアルマイカ氏  
ルイス・シルベイヤ氏  
ラウド・ナテール氏  
バジリオ・トラシコマ・フリオ氏  
レオナルド・スラシヤ・ジュニオール氏  
ビゼンテ・フリスシオ・フリモ氏  
アントニオ・カニホニ氏  
ラウル・パワサレーリ氏

伯國有数の資本家  
信用ある額振れ